

## 8. ガンダム食堂タムラ

記録：水野桃弓

場所：ガンダム食堂タムラ（名古屋市昭和区阿由知通 2-7-9）  
代表：野崎美登さん（39）（旦那さん 野崎力さん）  
料金：子ども 300 円、大人 500 円（+気持ち金）、お手伝いさんは無料  
初回：2016 年 4 月 19 日（火）18：00～ 毎月第 4 火曜日（初めは第 3 火曜日に開催）

インタビュー日時：2016 年 10 月 5 日（水）16：00～17：00  
インタビュー者：水野桃弓

参加日時①：2016 年 10 月 25 日（火）17：30～20：00  
参加人数：子ども 10 名、大人 4 名  
メニュー：里芋と大豆肉の焼きハンバーグ、サツマイモとオクラのサラダ、ニラのだし巻きたまご、枝付き枝豆、青菜の胡麻和え、かぼちゃと小松菜の味噌汁、菜飯。子どもが菜飯の小さめのおにぎり（お代わり自由）、大人は茶碗にもったものでしし唐を二つ付けて。  
参加者：水野桃弓

参加日時②：2016 年 11 月 22 日（火）17：30～20：00  
参加人数：子ども 8 名、大人 6 名（6 組）大人のみの参加者 1 人 計 15 名  
メニュー：アボカドマグロ丼、野菜カレースープ、青菜のたまご炒め、サラダ  
参加者：水野桃弓

◎きっかけ  
東京で子ども食堂というのをやっていることをテレビで見てカルチャーショックを受けた。貧困や孤食が気になってという理由ではない。始める前に平田寺子ども食堂に見学に行った。

◎食堂の仕組み  
基本は夫婦二人で調理と接客をしていて、たまに連絡があった学生（先月と今月は名城大学の方）や知り合いの方が手伝いに来てくれる。ボランティアを随時募集中である。

◎食材  
米、野菜は気遣って持ってきてくれる人がいる。テレビでも取り上げられたこともあって持ってきてくれた方もいた。肉は自分たちで負担する。また、子ども食堂の際に大人からいただいた 500 円+気持ち金から食材を購入している。

### ◎宣伝

呼び込みは Facebook やチラシ、子ども会などで行っている。毎月第4火曜日は子ども食堂のみのメニューだが、お店は通常に営業していただいてもそのメニューを食べられる。

### ◎スタッフ

美登さんと力さんで提供する。学生のボランティアは成ゼミの水野が二人目である。旦那さんがガンダム好きということで服やプラモデル、お面、ポスター、音楽までガンダムで埋め尽くされていた。お店は広くはないがアットホームな感じで落ち着く。

### ◎参加者

野崎さんは毎月来てくれるお客さんがいるといていた。また同じ保育園の親子の参加も多かった。野菜多めのメニューであったにもかかわらず、子どもも残さず食べていた。お母さん方も料理の野菜が豊富であることと値段に喜んでいて。ご飯を出す前も、食べ終わった後も子どもたちはお店にあるおもちゃで遊んでいる。初めて会った子同士もおもちゃを使って馴染んでいく。子どもたちが遊んでいる間お母さん同士が会話する。もともと知っていたお母さん同士もいれば、この子ども食堂を通して子どもたちが一緒に遊んでいることで会話が生まれている。インフルエンザの話やどの県出身か、主に今の子どもの状況を話していた。(何ができるようになったかなど) お母さんの一人がビール三杯を飲んでいて息抜きを感じられた。

### ◎子ども食堂への思い

始めてから何が正しいのか分からなかったが、ここ最近は近所付き合いの少なさや、普段バタバタしていて落ち着いて子どもとご飯を食べることができない親を気にして、家庭的な温かさや、栄養のバランスを提供することがいいのかなと思い始めている。もちろん子どもだけの参加であっても、ご飯を食べる楽しさを味わってもらいたいということである。シングルマザーの人や忙しい親の息抜きにもなり、いろんな人と交流できる場を作っている。お店の前に置かれた看板には「子ども食堂への思い 色々な家庭の事情があると思います。私も片親家庭を経験しています。家族の団らんにあこがれお店を始めました。そのお店で家族を超えた沢山の友達との団らんの間を作ることが出来たら子ども食堂を始めました。よろしく願います。」と書かれている。

### ◎感想

個人で経営しているお店を使って子ども食堂を運営することは、場所や食材に対して他の子ども食堂よりも悩むことは少なそうだと感じた。また地域にもともとあったお店ならば知名度もありそうだった。大きな子ども食堂ではないが子どもと親が食を通してのんびり交流出来て、親同士子ども同士でもつながれる場を提供していた。少しの時間かもしれないが団欒といった様子を感じることができた。

◎写真

